

平成 27 年度 第 1 回大台ヶ原の利用に関する協議会

議事概要

■日 時 平成 28 年 3 月 2 日(水)13:30～15:30

■場 所 奈良商工会議所 地下 1 階 AB 会議室

■出席者

| 機関名 | 出席者 |
|--------------------------|---|
| 国土交通省 近畿運輸局 奈良運輸支局 | 【ご欠席】 |
| 林野庁 近畿中国森林管理局 三重森林管理署 | 小畑 敏彦 地域林政調整官 山岸 極 業務グループ係員 |
| 奈良県 地域振興部 | 【ご欠席】 |
| 奈良県 暮らし創造部 景観・環境局 | 景観・自然環境課 棚橋 昭人 係長 田垣内 政信 主任技能員 |
| 奈良県 県土マネジメント部 | 吉野土木事務所 用地管理課 管理係 南 雅也 係長 吉野土木事務所 工務第二課 上北山方面係 島岡 誠 係長 |
| 奈良県警察 吉野警察署 | 【ご欠席】 |
| 三重県 農林水産部 | みどり共生推進課 自然公園班 中村 元久 班長 |
| 上北山村 | 地域振興課 三島 章人 課長 遠藤 学 主幹 |
| 川上村 | 地域振興課 堀谷 敦 主事 |
| 大台町 | 【ご欠席】 |
| 上北山村議会 | 富室 良城 経済常任副委員長 |
| 上北山村観光協会 | 金岩 修平 経営指導員（代理出席） |
| 上北山村区長会 | 【ご欠席】 |
| 上北山村漁業協同組合 | 【ご欠席】 |
| 上北山村商工会 | 中谷 守孝 会長 |
| 上北山村山岳救助隊 | 【ご欠席】 |
| 奈良県猟友会上北山支部 | 新谷 五男 副会長 |
| 一般財団法人 グリーンパークかわかみ | 【ご欠席】 |
| 奈良県勤労者山岳連盟 | 由良 行基周 自然保護委員 |
| 奈良県山岳連盟 | 野田 健司 理事 |
| 三重県山岳連盟 | 根本 幹雄 副会長 |
| 大阪府山岳連盟 | 【ご欠席】 |
| 近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部 | 大阪統括部 運輸部 事業課 花本 美孝 |
| 奈良県タクシー協会 | 【ご欠席】 |

| 機関名 | 出席者 |
|--|--|
| 奈良交通株式会社 | 乗合事業部 藤井 崇司 |
| 公益社団法人 日本山岳会関西支部 | 斧田 一陽 自然保護委員長 |
| 特定非営利活動法人 森と人のネットワーク・奈良 | 岩本 泉治 理事 |
| 大台ヶ原パークボランティアの会 | 伊東 博一 会長 |
| ワーク21上北山 | 福嶋 啓一 会長 |
| 吉野きたやま森林組合 | 【ご欠席】 |
| 一般社団法人 心・湯治館 | 城内 勲 代表理事 |
| 自然を返せ！関西市民連合 | 田村 義彦 代表 |
| 大台・大峯植生談話会 | 【ご欠席】 |
| 大台ヶ原自然再生推進委員会持続可能な利用（ワイズユース）ワーキンググループ委員 【オブザーバー】 | 橿原市昆虫館 日比 伸子 統括調整員 |
| 環境省近畿地方環境事務所 | 秀田 智彦 所長 国立公園課 榎本 和久 課長 川村 義治 生物多様性保全企画官 野生生物課 中山 良太 自然保護官 吉野自然保護官事務所 菅野 康祐 自然保護官 小川 遥 自然保護官補佐 |
| 大台ヶ原ビジターセンター | 株式会社環境総合テクノス 樋口 高志 マネージャー 樋口 香代 福嶋 千草 |

■議 事

- (1) 大台ヶ原の利用に関するガイド制度について（作業部会検討結果報告）
- (2) 東大台における携帯トイレブース設置に関する試行調査について
- (3) 大台ヶ原の利用動向及びアンケート調査結果について
- (4) 平成 28 年度西大台利用調整地区の運用計画について
- (5) 大台ヶ原における自然再生の取組みについて
- (6) その他

■議事概要

(1) 大台ヶ原の利用に関するガイド制度について（作業部会検討結果報告）

○平成 27 年度に実施した検討結果について説明

- ・ガイド制度導入に向けた取組として、平成 27 年度は「大台ヶ原自然再生推進委員会の持続可能な利用（ワイズユース）ワーキンググループ」と「大台ヶ原の利用に関する協議会（作業部会）」の合同検討会を計 3 回にわたって開催した、合同検討会における検討結果を説明し了解を得ると共に、ガイド制実施に向けた具体的な課題について、来年度も引き続き合同検討会において検討していくことについて、了解を得た

○説明に対する主な意見と回答

- ・ガイド制度の作業部会や運営委員会（仮称）のメンバーに三重県側の関係者が含まれないのはなぜか？ 大台ヶ原には三重県側からもアプローチできるので三重県側の関係者もメンバーに含めるべきではないか？
 - （事務局）作業部会メンバーの選定については、昨年度の協議会において事務局に一任頂いており、運営時に実際の負担を担う可能性がある地元行政機関を中心に選定した。来年度の作業部会については、三重県並びに大台町にも参加の意向を確認した上で進めていく。
 - （事務局）運営委員会（仮称）についても、現段階で実際に負担を担う可能性のある団体を想定しているが、このメンバーについては、来年度の作業部会において更に検討していきたい。
 - （事務局）作業部会という名称は目的が明確ではないので、来年度は「ガイド制度検討部会」としたい。
- ・今回、登録制となっているが、認定制との違いは何か？
 - （事務局）既存のガイド制度をみると、認定機関による資格試験の合格者を認定する場合を認定制度、一定の要件を満たす者を登録する場合を登録制と呼んでおり、今回の場合は登録制という形でスタートしたいと考える。

○平成 28 年度について

- ・平成 28 年度については、今回了解された「大台ヶ原におけるガイド制度の骨子(案)」に基づいて、引き続き検討を進めていく。
- ・協議会を登録機関としてガイド制度を導入するには、協議会要綱の改正が必要となるので、平成 28 年度に改正案を検討する。

(2) 東大台における携帯トイレブース設置に関する試行調査について

○平成 27 年度に実施した試行調査の結果について説明

○説明に対する主な意見と回答

- ・意見なし

○平成 28 年度について

- ・来年度は、維持管理を含めより実際の運用条件に近づけた状態で試行調査を実施する。

(3) 大台ヶ原の利用動向及びアンケート調査結果について

○平成 27 年度に実施した調査結果について説明

○説明に対する主な意見と回答

- ・昨年 11 月から始まった山上物産館での当日認定について、何も知らされていなかった。
→ (事務局) 関係者の皆さんに周知されていなかったことは誠に申し訳ない。
- ・事前申請済みの来訪者が、現地で当日認定のことを知ると不満や苦情が出る。現在の対応について再考を望む。
→ (事務局) 利用調整地区についてはあくまでも事前申請が原則であり、当日認定は事前申請を知らずに遠方から来訪した利用者への救済措置と考えている。今のところ、当日認定について積極的に広報していくことは考えていない。

(4) 平成 28 年度西大台利用調整地区の運用計画について

○今年度の運用結果概要及び来年度の運用計画について説明

○説明に対する主な意見と回答

- ・西大台利用者のために、最終バスの運行時間をもう少し遅くする事はできないのか。
→ バス利用者の大半は東大台利用者であり、バス利用者へのアンケートでも満足度は高い。西大台利用者のために遅くすると、バス利用者の大半を占める東大台の日帰り客にとっては遅すぎて不便になる。
- ・平成 27 年度の当日認定の実績はどうだったのか。
→ (事務局) 平成 27 年度は 11 月 1 日～30 日までの実質 1 ヶ月間の実施で、当日認定の立入り人数は 10 人であった。
- ・利用調整地区については事前申請が大原則であり、「当日認定は上限人数に対して空きがある場合に限る」という仕組みは、関係者がしっかりと理解しておいたほうがよい。
- ・当日認定の仕組みについては、逆に広く公開したほうが良いのではないかと。公開しても何ら問題ないと思う。

○平成 28 年度について

- ・(事務局) 西大台利用調整地区の運営上の課題等については、関係機関と連携し、改善が必要な事項等については、対応方法の検討を進めたいと。

(5) 大台ヶ原における自然再生の取組みについて

○平成 27 年度に実施した事業について説明 (報告のみ)

(6) その他

○議題収集時に寄せられた意見について

- ・事前に行った議題収集において、「大台ヶ原地区において登山者・ハイカー等が利用できる登山路・歩行路について図示してもらいたい。」との意見が寄せられたことから、協議会の冒頭にコース図を用いて説明を行った。